



## 2013年 新年明けましておめでとうございます。



野原遊びをする幼児親子とSOE-北区自然公園

昨年中は、ご理解・ご支援  
大変ありがとうございました。  
今年も、よろしく願いいたします。

地球環境分野・自然分野と共に、  
放射線の内部被ばくを減らす健康・安全課題に取り組む  
センスオブアース・市民による自然共生パンゲア 代表  
寺田 茂

新年の12日、PM9時から放送されたNHK報道特集「空白の初期被ばく～消えたヨウ素 131 を追う」  
の中で、2011年3月14日～17日までの初期被ばくの記録が測定中止になっていたが、大野局で10  
分間隔の雨、気象データが見つかり、その結果3月14日夜の南風により、南側の地域一茨城県、東京都  
もヨウ素131の被ばくの可能性が高く、再度検証する必要が出てきたことを伝えています。そして、セシ  
ウム137はこれから半減期までの30年間、ずっと、すぐそばに存在続ける放射性物質です。**3・11以  
前と比べ、いまだに板橋区でも、通常の3倍近い放射線量です。**

(板橋区役所前 2013.1.11 現在 0.08 マイクロシーベルト  $\mu$ Sv/h)

センスオブアースは、これまで、子どもたち・市民のみなさんへの自然に親しむ分野や循環型社会を目  
指す食育教育の実施と共に、昨年、健康・安全分野として、「放射線の内部被ばくから体を守る生活  
の仕方」プログラムを開発しました。それを2つの大学、2つの中学校、4つの小学校で実施したところ、  
いずれの学校でも、子どもたちの関心は高く、驚きました。知りたい内容の中で一番多いものは、自分た  
ちで体を守る方法があるなら知りたいと言う意見だったこと、それは、子どもたちがこれまで不安を抱え  
てきたことの証でもありました。(2 ページへつづく)

### トトロの森・狭山湖合同野鳥観察会 (SOE・野鳥クラブ・金沢クラブ)

'13年3月2日(土) 午前10時 西武線 西武球場前駅 集合

申し込み先 (電話): SOE 03-3960-6052

見られる野鳥 (可能性) ホオジロガモ・カワアイサ・カイツブリ類・サギ類・  
タヒバリ・セグロセキレイ・キセキレイ・ジョウビタキ・ルリビタキ・シロハラ・  
トラツグミ・ホオジロ など

交通◎ 西武池袋駅 9時10分発快速西武球場行 乗車

西武池袋駅◎9時25分発急行に乗車、西所沢駅乗り換え西武球場5分遅れで着

(持ち物) 弁当・温かい飲み物・双眼鏡・図鑑・防寒具・手袋・他



私たちは、子どもたちの健康な体づくりのために、今できることを考え、被ばくを最小限に抑える方法と体内の放射性物質の排出方法もライフスタイルの中に取り入れることを提起しています。細胞分裂の活発な成長期の子どもたち・青年の長期の内部被ばくを減らすための取り組みです。

ご指導ご支援よろしくお願い申し上げます。



## イチョウの精キロリの 不思議ないのり



初冬の12月6・7日と、11日、区立保育園のつぼみ保育園、西前野保育園、そして、栄町保育園で、同プログラムを実施しました。イチョウの葉が降りしきる黄金色の季節、自然の中で、子どもたちの感性の鋭さ・創作能力の高かったことには、驚きました。

### ☀️ 12/7、西前野保育園4歳児5歳児40人は、近くの平和公園で活動しました

寒い冬の日差しの中でも、子どもたちは元気に、キロリのオニゴッコを3回。その後、紙芝居のキロリ不思議ないのりの紙芝居を静かに集中して聞き、イチョウのオバアを助けるために、イチョウの葉で生きものを作る活動を開始。カブトムシ8人、チョウチョ4人、ウサギ6人、虫4人、などいろいろ興味のある生きものが広がりました。



西前野保育園うさぎさん



平和公園の大イチョウの下で



西前野保育園ゾウさん

### 🌸 西前野保育園の先生方の感想

戸外でのこうした活動は初めてだったので、当日を迎えるのも楽しみな様子で、期待を持って参加できました。普段何気なく見たり擦れたりしているイチョウの木により親しみを持つことができました。(I/U)

先生の優しい言い方なのにわかりやすくゆっくりとそしてはっきりとお話してくださいるのでわかりやすかった。木の笛は効果的でした。木を守った方々に感謝します。(S/T)

子どもたちを一瞬にしてひきつける技や楽しいゲーム遊びの提供などなど、学ばせていただくことが多かった。全員の作品を見ることができ、一人ひとりの思いが伝わりました。オニゴッコのルールもわかり楽しめました。(O/S)

## ☀️ つぼみ保育園3歳児～5歳児50人は、風邪が流行っていたため、室内で活動しました。

つぼみ保育園園児たちが創作した生きもので多かった生ものは、花14人、クワガタカブトムシ9人、ライオン5人、カタツムリ4人、へび3人、人と自然3人、クローバー2人などで、とても大胆で意欲的な作品が多かったのには感心しました。最後に、人間ていいなという歌を元気よくうたってくれました。先生方は、「上手にできた。集中していた。先生のはなしをよく聞いていた。」などと子どもたちの姿をよく見て励ましの言葉をかけていました。



つぼみ保育園児 カタツムリ



みんなの作品すごいですね



つぼみ保育園児 創作カブトムシ

## ☀️ 12/11栄町保育園は3歳児～5歳児まで22名でした。

近くの看護学校の敷地内のイチヨウの木を見つけ、その前で活動開始。近隣の方々が、子どもたちを励ますように笑顔で通り過ぎていきます。モチーフは、チョウが多く6人、クワガタカブトムシが6人、花4人等でした。オニゴッコがたのしかった子9人、絵で仕上げるのが楽しかった子6人で、それぞれ楽しんでくれました。3歳児も、負けずに取り組んで素晴らしい造形でした。



栄町保育園児の大胆な造形



栄町保育園児のカブトムシなど



集中して紙芝居を聞く園児たち

## 🌸 栄町保育園の先生方の感想

この季節ならではのイチヨウの木をテーマにした題材はとてもよいと思いました。また、ストーリー性があることで、子どもたちもイメージを膨らませ、感性の豊かさや情緒に触れ育つ部分も多かったと思います。(y.y.)

イチヨウの葉の造形活動で子どもたち一人ひとりの個性の出る作品となり具体的に子どもなりにイメージして表現できていて子どもの発想に驚きました。子どもたちが自由に発想するのも戸外でのびのびとした雰囲気であるからこそ感じました。(T.M.)

この時期の環境教育は初めてでしたが、3歳児から5歳児まで参加できました。北風がちょっと冷たい日でしたが、イチヨウの木の根元でキロリの不思議ないのりをしっかり受け止めて、子どもたちの発想の豊かさにとびつくり。  
園長 片桐牧子先生



ダンボールに新聞紙を敷く

# 「ダンボールで コンポストを作ろう！」 (肥料づくり)

## 【コンポストとは?】

- ＊ 家庭で出た生ゴミなどを微生物の力を借りて発酵・分解し再び自然のサイクルに戻す廃棄物の処理方法です。
- ＊ 生ゴミは一般廃棄物の約 20% をしめており、年々廃棄物の埋め立ての最終処分場の確保が難しいので、生ゴミの排出を少なくすることは多いに意義もあります。

## 【ダンボールでコンポストは出来るの?】

一般的に家電店で売られている生ゴミ処理機は 5 ～ 8 万ほどかかるが、ダンボールコンポストの場合かかる費用は 1,000 円程度でとっても経済的です。

## 【用意するもの】

- ＊ ダンボール (縦 30cm× 横 40cm× 高さ 30c の寸法の場合) 形はどれでもよい。土の量による
  - ＊ ピートモス (12 リットル、雑貨ホームなどに売っている)
  - ＊ **もみがらくん炭** (8 リットル)
  - ＊ 新聞紙    ＊ ガムテープ    ＊ スコップ 1
- ＊ピートモスと**もみがらくん炭**は 3 : 2 の割合が理想です。  
下記ブログ参照  
<http://ameblo.jp/masat1228/entry-10929870880.html>

## 【作り方】

1. ダンボールを組み立てる
2. ダンボールの中に新聞紙を敷く
3. ダンボールの底や角をガムテープで補強する
4. 土を入れる    5. スコップで良くかき混ぜれば完成

## 【用意するもの】

- ＊ 生ゴミはなるべく細かくすると分解が早くなります。
- ＊ 毎日生ゴミを入れてもらっても充分分解されます。
- ＊ たまねぎの皮や魚の骨、貝類、汁物などコンポストで分解出来ないものもあります。
- ＊ 雨には弱いので雨にぬれないような場所で置いて使用してください。
- ＊ ダンボールは強度にも寄りますが、3 ヶ月は使い続けることが出来ます。
- ＊ 作成後、1～2 週間で良質な堆肥としても使用出来ます。(やってみよう、生ごみで)



もみがらくん炭をいれて



よくかき混ぜておわり

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町 4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052  
e-mail: [info@npo-soe.jp](mailto:info@npo-soe.jp) url: [npo-soe.jp](http://npo-soe.jp)